

■ H形鋼の形状及び寸法許容差 Dimensional Tolerances

単位 mm

		JIS G 3101 一般構造用熱間圧延H形鋼 JIS G 3106 溶接構造用熱間圧延H形鋼		摘要	
		区分	許容差		
辺(B)		400以下			
高さ(H)		800未満	辺Bが400以下		±2.0
厚さ	(※) フランジ (t ₂)	16未満			±1.0
		16以上25未満			±1.5
	ウェブ (t ₁)	16未満			±0.7
		16以上25未満			±1.0
長さ (L)	7m以下		+40 0		
	7mを超えるもの		プラス側許容差は、長さ1mを又はその端数を増すごとに上記プラス側許容差に5mmを加える。 マイナス側許容差は、0mmとする。		
直角度 (T)	高さHが300以下		辺Bの1.0%以下。 ただし許容差の最小値は1.5mm。		
	高さHが300を超えるもの		辺Bの1.2%以下。 ただし許容差の最小値は1.5mm。		
曲がり	高さHが300以下		長さの0.15%以下	上下、左右の曲がりには適用する。	
	高さHが300を超えるもの		長さの0.10%以下		
中心の偏り (S)	辺Bが400以下		±2.0	$S = \frac{b_1 - b_2}{2}$	
ウェブの反り (W)	高さHが350以下		2.0以下		
	高さHが350を超え550未満		2.5以下		
フランジ折れ (F)	辺Bが400以下		bの1.5%以下。 ただし許容差の最大値は1.5mm。		
切断面の直角度 (e)	—		辺Bまたは高さHの1.6%以下。 ただし許容差の最小値は3.0mm。		

(※) JIS G 3136 建築構造用熱間圧延H形鋼の厚さの許容差は下表となります。

厚さ(t ₂)	許容差	単位 mm
6.0以上 16未満	+1.7 -0.3	
16以上 40未満	+2.3 -0.7	